秘教の薔薇

「**秘教では**大体において、**女性をバラの木、バラの園、バラの花輪などに当てはめ、これらが生殖器の象徴であることを十分に認めていた。『ルカによる福音書』は「聖なるバラ」を女陰のしるしとして示している**、と中世の学者ピエール・コルは述べている。」
「赤いバラは満開の母親の性を表し、白いバラあるいはユリは処女女神のしるしであった。」

「 Barbaroi! 」の「バラ(Rose)」の記事